

授業科目名		担当講師名		対象学年	
地域と暮らし		大里 勝行 岩井 里砂		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室 フィールドワーク	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	学校周辺を探索し地域を知る。地域に暮らす人々の生活の実際を見る。				
到達目標	・地域の風土・文化を知り、地域に住む人々とその暮らしを理解する ・地域の特性（強み、弱み）を理解する ・地域で暮らす様々な人たちとの話しから、思いを知る				
事前学習	自分たちの故郷について調べ学習				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	暮らすということ ～グループになり自分の故郷自慢を行おう～
2・3	学校周囲の探索 小湊集落 ～面積・位置・人口・公共施設・学校・畑・神社など～ 探索結果のグループワーク
4・5	小湊集落に出向き、小湊集落を知る（小湊歴史散策）フィールドワーク ・小湊集落出身者の方から歴史、文化、集落の特性、地域行事や取り組み など実際に散策しながら学ぶ
6・7	小湊地域散策 グループワーク・まとめ発表
8	小湊地域の住民を方言の先生役になっていただき方言に触れる
9・10	小湊小学校稲作活動 稲刈り参加
11	八月踊り 練習（小湊小学校 運動会に向けて）
12	小湊小学校 運動会にむけての準備 小湊敬老感謝の集いにむけての準備
13	小湊敬老者訪問または小湊敬老感謝の集いを開催
14	小湊小学校運動会 参加
15	地域と暮らし まとめ レポート評価について
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院
成績評価の方法	グループワークのまとめ・発表評価 テーマに沿ったレポート評価
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
暮らしを支える看護Ⅰ		益田 祐子		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	社会構造の変化を知り、在宅看護の目指すものを理解し、在宅看護の概念を学ぶ				
到達目標	対象者とその家族の特徴を理解し、地域包括ケアシステムの機能を学び、療養の場へ広がる看護活動を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	在宅看護の背景について理解を深める 在宅看護の目的と特徴について理解する
2	在宅看護の対象者の特徴について理解する
3	在宅看護における家族支援について 療養者を支える家族存在について理解する
4	暮らしを支える看護のイメージができる 環境を整える、在宅看護の役割を理解する 地域包括ケアシステムを知る
5	暮らしを支える制度面の理解ができる 暮らしを支える看護に求められていることの理解 対象を観る視点について理解する
6	ライフステージ毎の対応を理解する 暮らしの中のリスクについて理解する
7	在宅・地域での看護師の役割を学ぶ 多職種連携における看護師の役割を学ぶ
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の基盤 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
暮らしを支える看護Ⅱ		益田 祐子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	在宅看護に関わる制度や法令、訪問看護の制度や提供方法				
到達目標	地域・在宅看護の対象を支える制度を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	1) 国・地域状況の理解ができる 2) 1) の状況より地域・在宅看護の意義が理解できる
2	介護保険制度の理解 (財源について、利用者状況について)
3	1) 訪問看護ステーションの制度について理解する 2) 医療保険制度について理解する
4	1) 訪問看護ステーションを取り巻く制度面について 2) 対象の理解
5	1) 権利保護に関連する制度の理解 2) 事例から対象者の理解をグループで検討する
6	1) 事例から在宅を考える考え方について 2) 在宅マネジメントを考える、グループ発表
7	在宅制度面の理解 まとめ学習
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材 参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の基盤 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
在宅療養を支える看護Ⅰ		益田 祐子 山城 歩		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	対象となる疾患の症状・状態 看護の要点 在宅看護介入				
到達目標	在宅看護の各疾患について理解し、在宅における事例展開を理解する。				
事前学習	レポート(脳卒中、パーキンソン病、ALS)				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	在宅看護介入時期別の特徴について考える	益 田
2	認知症療養者の事例展開 認知症について、独居療養者の現状を知る	
3	認知症療養者の在宅での過ごし方について検討・対応を考えることができる	
4	A L Sについて疾患の理解・対応について コミュニケーションについて検討する	
5	A L Sの看護展開・対応について考える レポートより学びを深める	
6	がん終末期・在宅看護展開 終末期の身体状況の理解を深める	
7	がん終末期の訪問看護展開を考え発表する 統合失調症の訪問看護を DVD にて学ぶ	
8	脳卒中の療養者の事例展開	山 城
9	パーキンソン病の事例展開 グループワーク	
1 0	パーキンソン病の事例展開 発表	
1 1	C O P Dの看護展開 グループワーク	
1 2	C O P Dの看護展開 発表	
1 3	統合失調症の看護展開 講義・DVD 視聴	
1 4	小児療養者の看護展開	
1 5	終講試験	
履修上の要件		
テキスト、教材、参 考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院	
成績評価の方法	筆記試験 レポート	
備考		

授業科目名		担当講師名		対象学年	
在宅療養を支える看護Ⅱ		山城 歩 益田 祐子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(30)	教室 実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	在宅看護の援助技術 日常生活の工夫 在宅看護における医療技術				
到達目標	在宅における日常生活援助に必要な援助技術を学ぶ 在宅で行われる医療処置の方法を学ぶ 療養者やその家族の指導や相談方法を学ぶ				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	在宅看護におけるコミュニケーション技術	山城
2	在宅看護におけるアセスメント技術	
3	訪問時の基本的態度（マナー） サービス提供者としての心構え グループワーク	
4	訪問時の基本的態度（マナー） サービス提供者としての心構え 発表	
5・6・7	排便技術（摘便） 在宅看護におけるベッド上洗髪 拘縮がある療養者の爪切り グループで実施方法を考え・実習室にて実施	
8・9・10 11・12・13	在宅医療技術 ・アセスメントと看護の実際 在宅酸素療法 人工呼吸器療法 膀胱留置カテーテル法 口腔ケア 経管栄養法 胃瘻・腸瘻栄養法 排泄ケア ストーマ管理法 褥瘡管理 移動・移乗動作（ポジショニング、リフト移動） 足病変 在宅中心静脈栄養（ポート） 服薬管理（服薬指導） 外来がん治療 疼痛コントロール管理	益田
14	在宅実践の技術：ターミナル、看取り、グリーフケア	
15	終講試験	
履修上の要件		
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論の実践 医学書院	
成績評価の方法	筆記試験	
備考		

授業科目名		担当講師名		対象学年	
在宅療養を支える看護Ⅲ		岩井 里砂		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	対象に応じた看護過程				
到達目標	対象とその家族が望んでいる思いや希望に寄り添った看護を探究し続け、価値観を尊重した看護過程の展開を学ぶ。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	在宅看護過程におけるポイント 記録用紙説明・評価について・事例提示および展開
2・3・4	グループに分かれて事例展開（記録用紙 No.1～No.3 まで） 対象・家族理解についてグループで協同学習し、問題抽出
5・6	アセスメント・計画立案（個人） 自身が着目した看護問題についてアセスメント・計画立案 ・看護問題に対する目標設定（療養者、家族のニーズを捉えた） ・目標達成に向けての具体策を立案
7・8	事例による看護過程発表①（グループ） 評価 振り返り グループごとに全体像発表
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院
成績評価の方法	看護過程の提出 評価表に基づき評価 グループワークによる評価、グループ発表評価
備考	